

大牟田市のあゆみ

古	代
---	---

景行天皇高田行宮にこられたとき、歴木の巨木があったのになみ「御木の国」と言われるようになった(「日本書紀」より)

平	安	時	代
---	---	---	---

9世紀初期 三毛中納言源師親が普光寺を建立したと伝えられる

10世紀初期 三毛師方が宮原天満宮を建立したと伝えられる

鎌	倉	時	代
---	---	---	---

12世紀末 今山岳の活動により三つの池出現、三池と言われるようになったと伝えられる

室	町	時	代
---	---	---	---

文明元年 1469 伝左衛門という農民が山中でたき火中、燃える石(石炭)を発見

天正15年 1587 豊臣秀吉より高橋直次に三池郡内1万8千石を賜る

慶長5年 1600 高橋直次は三池郡領地を没収される

江	戸	時	代
---	---	---	---

元和7年 1621 立花種次三池郡1万石を所領する

寛文4年 1664 平塚喜右衛門が早鐘山の谷に堤を築く

延宝2年 1674 三池藩が大牟田川に眼鏡橋をかける

享保6年 1721 柳河藩家老小野春信、平野鷹取山の地を賜り同年11月ここで石炭の採掘を始める

寛政2年 1790 三池藩が石山法度を布告

4年 1792 温泉岳(雲仙岳)爆発

享和3年 1803 立花内膳、吉ヶ谷の大堤を築く

文化3年 1806 立花氏下手渡(現福島島伊達市)に領地を移される

8年 1811 伊能忠敬一行三池郡地方を測量

嘉永4年 1851 立花氏に三池郡の領地5千石がもどされる

6年 1853 三池藩で生山を開坑

安政4年 1857 生山、平野山両坑の境界争いはじまる。明治5年に再度争い起こり三池郡中止を命じる

〃 〃 大浦坑開坑、大正15年閉鎖

明	治	時	代
---	---	---	---

明治2年 1869 立花種恭、三池藩知事に命じられる

4年 1871 三池藩士族が石炭採掘を願い出る

〃 〃 三池藩三池県となり同年11月久留米、柳河、三池の三県を廃して三藩県となる

6年 1873 炭坑一円が官山となる

〃 1873 三藩県囚徒を三池炭山に初めて働かせる

〃 1873 天梁、御木、咸休等の小学校が設立される

〃 〃 三池取扱所開設(現三池郵便局)

7年 1874 大牟田郵便局設立

8年 1875 梅谷坑口付近に初めてークス炉が設立される

9年 1876 志賀巽軒が銀水義塾を建て九州各地の子弟を教育、後伝習館分校を経、銀水高等小学校となる

〃 〃 三藩県を廃し福岡県に合併

10年 1877 浜田又平熊本県から来て小浜の干拓に従事、明治14年に完成

〃 〃 石炭搬出のため大牟田川河口の航路拡大に着手

11年 1878 大浦坑、大牟田川河口間の馬車鉄道完成

16年 1883 七浦坑操業開始、明治30年廃坑

〃 〃 三池集治監設置、のち三池監獄を経て三池刑務所と改称され、昭和6年廃止

17年 1884 三池鉱山本局、七浦間に初めて電話開通

19年 1886 地元金融機関として初めて三池銀行を江浦村に設立(現三井住友銀行大牟田支店)

20年 1887 地元初の会社として三池土木会社設立

〃 〃 宮浦坑が出炭操業開始

22年 1889 政府から炭山の営業権一切の引き渡しを終わり三池炭鉱社名で営業開始

〃 〃 町制実施、大牟田町、三池町ができる

〃 〃 三池紡績会社設立、九州紡績と改称後鐘紡に合併、昭和17年廃止

24年 1891 九州鉄道(株)久留米、高瀬間開通、大牟田駅開設

〃 〃 宮浦、横須浜間専用鉄道敷設

27年 1894 三池初めての発電所・七浦発電所新設坑外に初めて電灯がとる

29年 1896 郡制施行、三池郡大牟田町となる

〃 〃 勝立坑操業開始、昭和3年廃止

31年 1898 官原坑操業開始、昭和6年廃止

〃 〃 直轄坑夫を募集

35年 1902 三池港起工

〃 〃 万田坑操業開始、昭和26年廃止

36年 1903 大牟田郵便局で電話交換事務が開始

41年 1908 三池港竣工、開港場に指定される

〃 〃 三池港開門完成、長崎税関三池支署開所

45年 1912 わが国初の副産物回収コッパー炉操業開始、同年4月、ガス、タール工場運転開始、三井化学工業(株)の基礎が確立

〃 1912 港務所と万田間専用鉄道が電化される

大	正	時	代
---	---	---	---

大正3年 1914 三池製煉所が亜鉛製煉操業開始

5年 1916 電気化学大牟田工場建設操業開始

6年 1917 市制施行

7年 1918 万田坑に暴動事件が起こり、各坑に罷業続出、軍隊の出動となる

10年 1921 市上水道市内一部に通水開始

12年 1923 四山坑出炭開始

13年 1924 製作所中心に労働争議が起こる

〃 〃 宮浦大斜坑で出炭開始

15年 1926 市制10年記念国産共進会開催

〃 〃 銀水駅開設

昭	和	時	代
---	---	---	---

昭和2年 1927 大牟田電気軌道、旭町ー四山間竣工

4年 1929 大牟田駅ー三池町間に初めてバス開通

〃 〃 三川町を市に編入

〃 〃 記念グラウンド(天皇即位の御大典記念)完成

5年 1930 坑内請負制度廃止、女子坑内夫の入坑禁止

〃 〃 四人の採炭作業や馬匹使役を廃止

6年 1931 三池窒素工業(株)を設立、合成硫酸製造開始、同12年東洋高圧と合併

7年 1932 大牟田港県費支弁港湾に指定

〃 〃 大牟田商工会議所設立

9年 1934 腸チフス流行(患者582人)

10年 1935 東洋高圧大牟田工場竣工、硫酸製造開始。同25年から尿素製造を始める

11年 1936 大牟田市役所が新築落成

12年 1937 爆発赤痢発生(患者約12,000人、死者約712人)

13年 1938 九州鉄道(株)の電車、栄町まで開通、翌年7月大牟田駅まで延長される

15年 1940 わが国初の石油合成法による人造石油生産に成功、三井化学移管後同18年三池石油合成(株)設立にともない生産継続

〃 〃 三川坑で採炭開始

16年 1941 玉川村、駛馬町、三池町、銀水村を市に編入

〃 〃 東洋軽金属(株)設立、終戦とともに操業中止

17年 1942 全市大水害に襲われる

〃 〃 市立図書館、有明町に開館

18年	1943	大牟田市消防署設立	51年	1976	大牟田高等学校、全国高等学校駅伝大会で2連勝
19年	1944	工場地帯が空襲をうける	52年	1977	市制施行60周年を迎える
20年	1945	市内中心地、工業地帯が空襲のため甚大な被害をうける	53年	1978	大牟田港泊地埋め立て着工、昭和56年完成
21年	1946	三池合成工業㈱設立、人造石油製造から各種化学製品製造に転換、昭和37年三井化学と合併	55年	1980	大牟田市再開発市民会議結成
22年	1947	港第二発電所運転開始	56年	1981	大牟田市・大同市友好都市締結
23年	1948	大牟田警察署、自治体警察となり、29年、県警察にもどる	57年	1982	水道庁舎完成
24年	1949	県立保健所市に移管、市保健所が設立	〃	〃	養護老人ホーム吉野園完成
25年	1950	市立病院が不知火町に新築落成	〃	〃	市制施行65周年を迎える
27年	1952	市内電車が廃止	〃	〃	大牟田市民憲章制定
〃	〃	2か月におよぶ炭労の無期限ストライキ始まる	〃	〃	㈱九州精密機器(電気関係プラスチック成形工場)操業開始
28年	1953	国営三池干拓建設事業起工、42年9月完工	〃	〃	雇用開発センター発足
〃	〃	人工島初島大牟田市編入	〃	〃	大牟田・荒尾両市の境界問題円満解決(9月境界線確定訴訟取り下げ)
29年	1954	市民会館落成	〃	〃	全日本大学ソフトボール選手権大会開かれる
30年	1955	健老町地先埋立地大牟田市編入	58年	1983	市の木「くぬぎ」、市の花「やぶつばき」に決まる
31年	1956	市立動物園誕生	〃	〃	大牟田小学校開校(笹林・不知火小学校統合)
32年	1957	延命プール完成	〃	〃	三井石炭自家発電所(6月から営業開始)
〃	〃	市制40周年記念事業として大牟田産業科学大博覧会開催	〃	〃	市民憲章碑完成
33年	1958	市体育館が完成	〃	〃	福祉の森完成
34年	1959	三井鉱山の企業合理化の一端として製作所が㈱三井三池製作所として独立	59年	1984	1月18日、有明鉱坑内火災により死者83人
35年	1960	三池炭鉱の企業合理化をめぐり、10か月におよぶ、史上最大の争議が始まる	〃	〃	羽山台小学校開校
〃	〃	本浜田町地先埋立地大牟田市に編入、西新町と呼称する	〃	〃	新葬斎場完成
〃	〃	九州電力新港発電所運転開始	〃	〃	歴史資料館オープン
36年	1961	東洋高圧大牟田工業所にテキサコスガス発生炉建設、ガス源がコークスから原油に切り換えられる	〃	〃	勤労身体障害者教養文化体育施設、サン・アビリティーズおおむたオープン
37年	1962	本市が「産炭地域振興臨時措置法」に基づく6条地域に指定される	60年	1985	大牟田・荒尾清掃施設組合設立
〃	〃	交通安全都市宣言	〃	〃	総合福祉センターオープン
〃	〃	産炭地振興初の企業として三池コークス㈱設立、40年大牟田工場完成	〃	〃	大牟田市友好代表団中国各都市を訪問
38年	1963	国立有明工業高等専門学校開校	61年	1986	甘木配水池完成
〃	〃	11月9日三川炭じん爆発により大災害が起こり死者458人、日本炭鉱史上第2の重大事故となる	〃	〃	大牟田文化会館開館
39年	1964	市財政危機により「地方財政再建促進特別措置法」の準用指定をうける	〃	〃	「地方都市中心市街地活性化計画」のパイロットモデル都市の認定をうける
〃	〃	新産業都市に正式指定される	〃	〃	大同市歌舞団公演
〃	〃	暴力追放都市宣言	〃	〃	第八次石炭政策答申
〃	〃	「ばい煙規制法」が適用される	〃	〃	コミュニティマート構想モデル事業地域の指定をうける
〃	〃	農村有線放送電話事業開始、昭和50年廃止	62年	1987	九州帝京短期大学開校
40年	1965	第2人工島に四山鉱坑口移転	〃	〃	有明ニューメディア・サービス㈱設立(現有明ねっとこむ)
〃	〃	三池工業高等学校、全国高等学校野球選手権大会で初優勝	〃	〃	市制施行70周年を迎える
41年	1966	三池港線道路、白金立体交差建設工事着手、同43年4月完成	〃	〃	有明沿岸サミット開催
〃	〃	白金区画整理完了、千代町誕生	63年	1988	新開クリーンセンター完成
42年	1967	大浦焼却場から飛火、異常乾燥で2日間の山火事	〃	〃	消防署明治町出張所開設
〃	〃	大牟田川から水銀反応あらわれる	〃	〃	吉野地区公民館オープン
43年	1968	三井アルミニウム工業㈱設立、大牟田、荒尾地区へ進出決定	〃	〃	大牟田高等学校駅伝部全国大会優勝
〃	〃	上水道の延命配水池完成	平成元年	1989	物流センター建設用地決まる
〃	〃	東洋高圧と三井化学合併	〃	〃	㈱ネイブルランド設立
44年	1969	西鉄新栄町駅および商店街建設始まる	〃	〃	市民栄誉賞創設、第1号大牟田高校駅伝部へ
45年	1970	第3人工島三池島完成	〃	〃	日仏アメニティー地方会議
46年	1971	三池港三井の私港から県管理港へ	〃	〃	市民憲章運動推進第24回全国大会開催
〃	〃	有明広域市町村圏(2市5町)スタート	2年	1990	スポーツ都市宣言
48年	1973	し尿紛争起き、市直営化の方向で解決	〃	〃	とびうめ国体開催(ボクシング・ソフトボール)
49年	1974	市民体育館オープン、全国高等学校総合体育大会行われる	〃	〃	J R大牟田連絡橋完成
50年	1975	大牟田高等学校、全国高等学校駅伝大会で初優勝	3年	1991	J R吉野駅開業
			〃	〃	カルタックスおおむたオープン
			〃	〃	大型台風17、19号来襲、大被害でる

参 考

		大牟田市、大同市友好都市締結10周年大同市歌舞団公演、大同市写真工芸美術展開催			戸籍事務のコンピューター化
			13年	2001	有明海ノリ等不作不漁問題
	1991	大牟田高等学校駅伝部全国大会優勝			大牟田エコタウン事業建設着工
4年	1992	中央公民館オープン			「ゆめタウン大牟田」オープン
		動物園新装オープン			九州新幹線・有明海沿岸道路工事着工
		新栄町C・I事業第一期工事竣工			「大牟田市第三次総合計画後期基本計画」策定
		「大牟田大使」任命	14年	2002	環境基本条例制定
		大牟田市民憲章制定10周年記念大会開催			三川地区公民館(新築移転)オープン
5年	1993	大牟田駅東口駐車場・自転車等駐車場完成			平日夜間小児当番医を開設
		観光プラザオープン			帝京大学医療専門学校開校
		バイオファクトリーオープン			「有明海沿岸道路 大牟田・高田区間」工事起工
		炭鉱における安全と機械化に関する国連シンポジウム開催			大牟田エコサックセンターオープン
		手鎌地区公民館オープン			大牟田・荒尾RDFセンター稼働
		白川七夕社宅跡地から古墳時代の低地遺跡を発掘			大牟田リサイクル発電所稼働
		園田選手に市民栄誉賞	15年	2003	東部環境センター稼働
6年	1994	市庁舎北別館完成			勝立配水池通水
		新栄町C・I事業第二期工事(商店街活性化策定事業)竣工			リサイクルプラザ稼働
		諏訪公園オープン			ありあけ新世高等学校開校
		大牟田市ごみ散乱防止条例施行			三池じん肺補償問題、未提訴患者と和解、全面解決
		大牟田市、マスキーガン郡・市姉妹都市締結			構造改革特別区域に「環境創造新産業特区」認定
		駛馬地区公民館オープン			産業再生機構は、三池鉱山支援決定
7年	1995	訪問看護ステーション開始	16年	2004	九州新幹線「三池トンネル」貫通
		第3大浦谷埋立地完成			「松屋」経営再建断念
		大牟田市立総合病院オープン			市民憲章運動推進全国大会を大牟田で開催
		主要地方道南関・手鎌線開通			第19回国民文化祭(とびうめ国文祭)の「遊学、交流カルタの世界」開催
		ネイブルランドオープン(平成10年閉園)			
		石炭産業科学館オープン	17年	2005	大牟田初の4年制大学「帝京大学福岡医療技術学部」開校
		大牟田市、ノースマスキーガン市姉妹都市締結			「新総合計画2006～2015基本構想」策定
		戦後50年、核兵器廃絶平和都市宣言10周年記念平和モニュメント建立			県立高校(大牟田南・三池農業・大牟田商業)閉校
8年	1996	秋篠宮殿下・妃殿下本市を視察(ネイブルランド・石炭産業科学館)	18年	2006	大牟田市庁舎旧館が国の登録文化財となる
		三池炭鉱の維持存続と炭炭地域振興を求める市町民総決起集会開催			「子ども見守り隊」の活動連絡協議会発足
		大牟田・マスキーガン友好協会設立			みなと小学校開校(三川・三里小学校統合)
		第47回福岡県植樹祭が諏訪公園で開催			三池港と釜山港を結ぶ初の海外定期航路就航
		中国・大同市との友好都市締結15周年	19年	2007	「近代化遺産保存活用基金」を設置
		第8回全国生涯学習フェスティバル開催			大牟田高校野球部、春の甲子園選抜大会出場
		宮浦石炭記念公園オープン			「はやめ人情ネットワーク」が地方自治法施行60周年記念総務大臣表彰を受賞
		内陸型大型工業団地・大牟田テクノパーク起工	20年	2008	暴力団追放へ市議会決議と市民総決起大会の開催
9年	1997	三池炭鉱閉山			地域高規格道路「有明沿岸道路」大牟田・大川間が部分開通
		昭和アルミニウム缶(株)大牟田工場完成			三池港開港100周年記念事業が大盛況
		市制施行80周年を迎える			宮原坑跡を含む「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界遺産国内候補地リスト入り
		イメージソング、市の木・市の花のデザインを決定			大牟田市財政健全化計画を公表
10年	1998	行政連絡員制度発足(平成15年度まで)	21年	2009	「大牟田市安心安全ステーション」開設
		資源物リサイクル全校区で開始			三池炭鉱関連施設が世界遺産登録の新たな構成資産に
		障害者生活支援センター開所			有明海沿岸道路の矢部川大橋区間開通
		宮原坑施設、万田坑施設、国の重要文化財に指定			定住自立圏構想で中心市宣言
11年	1999	(株)大牟田リサイクル発電設立	22年	2010	地方独立行政法人「大牟田市立病院」スタート
		大牟田市公式ホームページ開設			天領小学校開校(諏訪・川尻小学校統合)
		リフレスおおむたオープン			みやま、柳川両市と定住自立圏形成協定締結
12年	2000	宮原坑跡、万田坑跡、国の史跡に指定			「三池の大蛇山」を市無形民俗文化財に指定
		大牟田高校駅伝部全国大会優勝	23年	2011	東日本大震災が発生し、市内一円でさまざまな支援活動を展開
		大牟田川から高濃度のダイオキシンの検出			九州新幹線新大牟田駅開業
		有明海沿岸道路起工			イオンモール大牟田開業
		南部浄化センター稼働			三池港、航路浚渫工事完了・取扱量も過去最高を記録
		道の駅「おおむた」オープン			

		帝京大学が3学科新設・ネイブルランド跡地への新キャンパス建設を発表
24年	2012	「有明沿岸道路」大牟田・三池港間開通
		ありあけ浄水場通水開始
		長溝線の立体交差区間が開通
		三川坑跡、閉山後初の一般公開
25年	2013	大牟田市、三川坑跡を無償取得
		荒尾市、南関町、長洲町と定住自立圏形成協定締結
		天の原小学校開校（天道・笹原小学校統合）
		「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」が世界文化遺産の政府推薦案件に決定
		帝京大学、26年4月に2学科開設が決定
		市民活動等多目的交流施設「えるる」オープン
		三川鉱炭じん爆発50年式典開催
		大牟田テクノパーク完売
		大牟田高校、全国高校駅伝大会で準優勝
26年	2014	ユネスコへ「明治日本の産業革命遺産九州・山口と関連地域」政府推薦書提出
		三池炭鉱専用水道廃止、市水道へ一元化
		帝京大学新キャンパスが岬町に誕生、2学科新設
		大牟田市と島原市が観光協定締結
		大牟田市議会、初の女性議長誕生
		地域の防災拠点、新消防庁舎落成
27年	2015	宅峰中学校開校（船津・右京・延命中学校再編）
		中学校完全給食スタート
		大牟田商工会議所新会館移転
		「明治日本の産業革命遺産」世界文化遺産登録
28年	2016	記録的な寒波により、大牟田市全域が断水
		大牟田中央小学校開校（上官・大牟田小学校統合）
		市制100周年記念プレ事業を開催
		熊本地方で2度にわたり震度7の地震が発生、大牟田市でも震度4を観測。人員等の派遣など被災地の支援を実施
		コミュニティFM放送局「FMたんと」が開局
		ガバメント・クラウド・ファンディングで、炭鉱電車を三川坑跡へ移設、一般公開を開始
		動物園が「エンリッチメント大賞2016」を受賞
		大牟田市で九州市長会を開催
29年	2017	市制施行100周年。記念式典など様々な記念イベントを開催
		公式キャラクター「ジャー坊誕生」
		官原中学校開校（米生・勝立中学校統合）
		動物園の28年度の入園者数が歴代3位の25万1,600人となる
		九州北部豪雨、市内に初の特別警報発令。被災地へ職員やボランティアを派遣
		有明海沿岸道路の徳益IC～柳川西IC間が開通。大牟田市から大川市まで直結
		おおむた「大蛇山」まつりの総踊りに過去最多の8,000人が参加
		ジャー坊がゆるキャラ(R)グランプリ2017で第6位
		ユネスコスクール全国大会を大牟田市で開催
30年	2018	市民舞台劇レ・ビューおおむた2017が上演
		駛馬小学校が開校（駛馬北・駛馬南小学校統合）
		子育て包括支援センター「はぐはぐOomuta」開設
		保健所の設置主体を県へ移管する動きが始まる
		今後の市庁舎整備手法などを協議する大牟田市庁舎整備検討委員会が発足、庁舎整備についての議論が進む
		大牟田市を舞台にした映画「僕のケモノート（仮題）」の制作発表が行われ、「応援する会」が設立。オーディションには約1,000人が参加
		ジャー坊がゆるキャラ(R)グランプリ2018で準グランプリ

令	和	時	代
令和元年	2019	西鉄の観光列車「ザ レールキッチン チクゴ」が運行開始	
		東京五輪聖火リレー福岡県のスタート地点へ選定、ジョージア柔道チームのキャンプ地・ホストタウン登録	
		保健所の設置主体が県へ移管決定	
		内閣府「SDGs未来都市」選定、ジャパンSDGsアワード特別受賞	
		映画「いのちスケッチ」全国公開、大牟田での観客動員数2万人突破	
		明光学園高校ハンドボール部高校全国大会三冠達成、スポーツ功労表彰特別賞贈呈	
令和2年	2020	故・中村哲さんへ大牟田市市民栄誉賞を授与	
		本市出身の漫画家・萩尾望都さんへ大牟田市市民栄誉賞を授与	
		大牟田市保健所を廃止し、大牟田市保健センターを開設	
		三井化学専用鉄道で走り続けた「炭鉱電車」の運用終了	
		令和2年7月豪雨災害の発生。本市の観測史上最大の豪雨に見舞われる	
		浪川会本部事務所に対する事務所使用禁止等の仮処分命令が執行される	
		三川坑炭塵爆発犠牲者の冥福を祈り、三川坑跡に慰霊碑が建立される	
		大牟田高校、全国高等学校駅伝競走大会において7年ぶりに入賞	
令和3年	2021	ごみ固形化燃料（RDF）発電事業の継続が決定	
		本市初の女性副市長、女性教育長が誕生	
		令和2年7月豪雨災害から1年。復旧復興と災害に強いまちづくりへの取組みが進む	
		令和3年8月大雨災害。24時間降水量が8月の観測史上最大を記録	
		三井化学「J工場」の解体が決定	
		浪川会本部事務所撤去解体。跡地は市の所有へ	
		大牟田市動物園開園80周年&ともだちや絵本美術館オープン	
		映画「向田理髪店」制作発表。大牟田でロケが行われる	